

ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

栃木保健医療生活協同組合

健康とくらし

2024年7月
543号

特集
2～5面

第49回通常総代会



待合室

6月29日(土) 第49回通常総代会が開催されました。そこで、2030ビジョン(栃木保健医療生活協の中長期計画)について述べられました。2030年まであと6年間。私たちは変化する社会の中で、いのちとくらしを守る活動に取り組んでいきます。

さて、皆さまに耳なじみがあるかと思いますが「SDGs(持続可能な開発目標)」も、2030年までに達成を目指す、世界共通の目標です。「誰一人取り残さない」ことを掲げているSDGsは、医療福祉生協の2030年ビジョン「誰もが健康で居心地よくくらしを築くまちづくりへの挑戦」へつながるものではないでしょうか。

世界各国のSDGsの達成度を評価した「持続可能な開発報告書」2024年版では、17の目標のうち日本の達成項目は1つ(産業と技術革新の基盤をつくろう)でした。ジェンダー平等や気候変動対策など5つの目標が前年に続いて「深刻な課題がある」と評価されています。

同報告書では、「SDGsのターゲット(169個の小目標)」のうち、2030年までに達成できそうなものはわずか16%、残りの84%は進捗が限定的か、後退している」と述べられています。新型コロナウイルスにより、その達成はより困難となりました。

SDGsと聞くと大きな規模の話に思いますが、食料を無駄にしない「節電・節水」「困っている人に声をかける」等、特別ではない身近なことがSDGsへの貢献です。自分と自分の周囲の人が、そして同時に地球の環境や生き物たちが幸せでいられるような行動を選ぶ意識が、未来の世界をつくるのかもしれない。

昔と今、気候や気温など暮らしを取り巻く環境が違っていることは、皆さまも体感しているかと存じます。異常気象が「異常」とされている今のうちに、「何とかしなくてはいけないのだらうな」という少しの気持ちで、自分にも地球にも優しい行動に変換してみるのはいかがでしょうか。

歴史に学び新しい歴史つくろう

第49回総代会開かれる

栃木保健医療生協第49回通常総代会は、6月29日（土）ライトキューブ宇都宮で開かれました。

総代実参加64名、オブザーバー15名、役員47名、総勢116名が参加しました。



会場の様子

創意工夫をして 活動を広げよう

関口真紀理事長は開会あいさつで社会保障の後退や経済格差の問題を述べ、「地域で

暮らす全ての人々の尊厳が守られることを活動の根本に据え、『あなたの幸せが私の幸せ』といえるような医療生協らしい活動を、組合員が結びつき力を合わせ、励まし合い、創意工夫して創っていきましょう」と話しました。



挨拶をする関口真紀理事長

コロナ禍の混乱に あって着実に前進

続いて、宮本進専務理事が議案提案を行いました。コロナ禍による社会の混乱から4年が経過しましたが、私たちの事業と運動は力強く、乗り

越えることができました。

その要因として、一つ目は、医師体制を強化することができた点。近隣医療機関との連携で家庭医療を志す若手医師の研修先として選ばれ、多数の医師が在籍し安心して働けるという好循環が生まれています。

二つ目に、地域の組合員活動が活発に行われ、班会開催数がコロナ前に戻りつつある点。虹フェス（健康まつり）実施や「こたつで丸くなる」などのユニークな企画で、つながりの場づくり、居場所づくりがすすみました。

三つ目に、「つながるカフエ★カムカム」の活動が「社会的処方」の実践としてマスコミでも紹介され、私たちが一貫して行ってきた地域活動がそこに集う人たちの健康度を上げていると自信を持つことができました。

また、出資1口金額が10

00円になったことも生かし、組合員ふやしは目標の1000人に及ばなかったものの823名が加入しました。その中で大学生の班会が誕生したことは特筆すべきですと語りました。

全職員と組合員 参加の経営

事業活動では、全体として収益を伸ばし、利益目標を達成することができました。全国で多くの医療機関が主に医師やスタッフ不足で経営困難にあることは対照的です。

しかし、コロナワクチン接種やPCR検査収益が大きかった一方で、介護事業は全体として苦戦したことから、2024年度は事業改善が必須であると強調し、組合員と全役員が力を合わせましょうと呼びかけました。

2030年に向け ありたい姿を議論しよう

2030ビジョンの補強案では、多世代が参加し、さらに地域に根差した生協の姿を組合員と役員が一緒に議論

しようと呼びかけました。その後、討論では総代や職員など6人が発言しました。（発言の要旨は別項に掲載）

提案された7つの議案が、事前に提出された書面議決書を含め賛成多数で採択されました。

武井副理事長が 特別報告

2030ビジョン補強案に関わって、武井大副理事長が、「複雑困難な状況に陥っている方たちの問題を受け止め、組合員や地域住民、多職種と力を合わせて解決に取り組むことができる医師集団をつくる。やりがいを感じます」と語りました。



特別報告で登壇した武井大副理事長

2023年度 新班表彰

- おはなしビスケット（宇都宮北西支部）
- おば班（宇都宮中央支部）
- ぐるめっちゅ班（宇都宮東支部）



仲間増やし達成表彰

- 安蘇支部 ○那須支部 ○宇都宮東支部



総代会特別決議

日本国憲法を学び、生かし、 健康なまちづくりをすすめよう

私たちは、一昨年の第47回通常総代会で「栃木保健医療生協の2030ビジョン」を策定し、栃木保健医療生協が今後も社会に必要とされる存在であり続けるために、やるべきこと、ありたい姿を議論することを呼びかけました。その後の2年間の実践で、懸案だった虹・本部の新築移転とふたば診療所の増築を完了しました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界中が大混乱に陥る中、私たちは住み慣れた地域でのくらしを支えるスタンスを崩さず、全役職員の奮闘でコロナ禍を乗り越えてきました。

また、出資一口金額を5000円から10000円に変更し、将来にわたる組織の維持発展に備える改革を行ってきました。組合員の平均年齢が72歳に達していることから将来的に組合員数の減少や出資金の減少傾向が懸念されています。私たちが加入する医療福祉生活協同組合連合会は、先日開いた総会で、

「組合員参加のあり方に関する提言」を発表しました。多世代にとって必要とされる医療福祉生協の組合員活動のあり方を組合員と役職員みんなで議論してまいりましょう。

私たちは、一昨年の第47回通常総代会で「栃木保健医療生協の2030ビジョン」を策定し、栃木保健医療生協が今後も社会に必要とされる存在であり続けるために、やるべきこと、ありたい姿を議論することを呼びかけました。その後の2年間の実践で、懸案だった虹・本部の新築移転とふたば診療所の増築を完了しました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界中が大混乱に陥る中、私たちは住み慣れた地域でのくらしを支えるスタンスを崩さず、全役職員の奮闘でコロナ禍を乗り越えてきました。

また、出資一口金額を5000円から10000円に変更し、将来にわたる組織の維持発展に備える改革を行ってきました。組合員の平均年齢が72歳に達していることから将来的に組合員数の減少や出資金の減少傾向が懸念されています。私たちが加入する医療福祉生活協同組合連合会は、先日開いた総会で、

「組合員参加のあり方に関する提言」を発表しました。多世代にとって必要とされる医療福祉生協の組合員活動のあり方を組合員と役職員みんなで議論してまいりましょう。

私たちは、一昨年の第47回通常総代会で「栃木保健医療生協の2030ビジョン」を策定し、栃木保健医療生協が今後も社会に必要とされる存在であり続けるために、やるべきこと、ありたい姿を議論することを呼びかけました。その後の2年間の実践で、懸案だった虹・本部の新築移転とふたば診療所の増築を完了しました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界中が大混乱に陥る中、私たちは住み慣れた地域でのくらしを支えるスタンスを崩さず、全役職員の奮闘でコロナ禍を乗り越えてきました。

私たちは、一昨年の第47回通常総代会で「栃木保健医療生協の2030ビジョン」を策定し、栃木保健医療生協が今後も社会に必要とされる存在であり続けるために、やるべきこと、ありたい姿を議論することを呼びかけました。その後の2年間の実践で、懸案だった虹・本部の新築移転とふたば診療所の増築を完了しました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界中が大混乱に陥る中、私たちは住み慣れた地域でのくらしを支えるスタンスを崩さず、全役職員の奮闘でコロナ禍を乗り越えてきました。

2024年6月29日

栃木保健医療生活協同組合

第49回通常総代会

「組合員参加のあり方に関する提言」を発表しました。多世代にとって必要とされる医療福祉生協の組合員活動のあり方を組合員と役職員みんなで議論してまいりましょう。

ません。

第49回通常総代会 各号議案の議決状況

第49回通常総代会に提案された議題

- | | | | | |
|--------------|------------------------------------|-------|-----|-----|
| 第1号議案 | 2023年度事業報告の承認の件 | 賛成101 | 保留2 | 反対0 |
| 第2号議案 | 2023年度決算報告及び剰余金処分案の承認の件
および監査報告 | 賛成102 | 保留1 | 反対0 |
| 第3号議案 | 2024年度事業計画決定の件 | 賛成102 | 保留1 | 反対0 |
| 第4号議案 | 2024年度予算決定の件 | 賛成102 | 保留1 | 反対0 |
| 第5号議案 | 栃木保健医療生協2030ビジョンの補強案承認の件 | 賛成101 | 保留2 | 反対0 |
| 第6号議案 | 役員選任の件 | 賛成101 | 保留2 | 反対0 |
| 第7号議案 | 2024年度役員報酬決定の件 | 賛成102 | 保留2 | 反対0 |

すべての議案が賛成多数で承認されました。

総代定数105名、実出席64名、書面議決参加41名で100%出席。議長2名を除いた103名が議決に参加しました。

第49回総代会で選出された役員は次のとおりです。

理事長：関口 真紀（重任）
副理事長：北岡 吉民（重任）、武井 大（重任）
大坪由利子（新任）
専務理事：宮本 進（重任）
常務理事：青柳るり子（重任）
理事：桑川 吉見、酒井 茂、柴田 恵子
鈴木 順子、鈴木 陽子、鈴木フサ江
早乙女利次、中村 絹江、増山 民江
水本 純子、峯岸貴志子、宮本 孝司
森 四郎、吉田えり子、山口 誠英
（以上重任）、志村とも子（新任）
監事：鎌柄 克美（重任）、紺野 有史（新任）
篠原 章彦（新任）

退任された役員

副理事長：斉藤 千恵
幹事：工藤 浩喜、黒須 正文

長い間お世話になりました。

新副理事長 就任あいさつ



大坪由利子

協立診療所開設時より組合員として関わってまいりました。理事として3年目、支部長として2年目となる今年、斉藤千恵さんの後任として副理事長に就任することとなりました。

医療生協の理念を改めて考え、副理事長として私に何ができるのだろうかと思いましましたが、医療生協がさらに地域に根差したものになるために、組合員としての立場から、今までの自分の経験が何か役に立つのではないかと思います。

地域に密着した診療所として始まり、約50年間の年月を経て、様々な変化がありました。今の時代に合った、医療生協が地域に根差した組織であるための位置づけができるという、と考えております。組合員さん、患者さんに寄り添ったものとなるように、小さなことでも1つずつ、できることをやっていく所存です。今後とも、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

前副理事長 退任あいさつ



斉藤 千恵

この度、任期満了につき当生協副理事長を退任することとなりました。在任中は多くの方々から温かいご支援を賜り心から感謝申し上げます。思い返せば、医療生協立ち上げ時より職員として奔走し、来年で50年。栃木県内各所の班会へ足を運んだことや、団地の集会所で子どものたちの学習支援をしたこと、県内で最初に始めた訪問看護、様々な記憶がよみがえってきます。

栃木県に来る前から民医連で働いてきましたが、そこには必ず差し伸べる手がありました。だから私もここで大変な時期も乗り越えられたのだと思っています。

闘病生活を経て支部活動に関わり始め、副理事長に就任してから、変化する時代に対応し、若い世代へ引き継ぐという意識を持ってやってきました。医療生協の原動力は、組合員さんの存在です。地域の中でそれぞれが支部・班の特色を生かして活動をしている、これが大切なことです。組合員と職員が団結し、今後も地域社会の中で多彩な活動を展開していくことを期待しています。

総代会発言

2023年度の活動と今年度の活動

宇都宮北西支部 天谷美恵子さん



移動販売車がスタート！

2023年度は、仲間増やしも増資も前年比約1.5倍となりました。目標には届きませんでしたが、毎月の地域訪問や、班会での積み立て増資の努力の賜物といえます。班会は年度末時点で24班延べ378回開催をしました。班会を広げていくことは、医療生協を大きくすること、健康寿命をのばすことにも通じます。支部は班会を大切に、ひとりぼっちの組合員をなくすためにも今後とも力をつくします。

今年度最初の取り組みとして、とちぎコープさんの協力を得て、毎週金曜日に虹の杜へ移動販売車に来てもらっています。支部活動をますます活発にできるよう頑張っていきたいと思います。

人と人とのつながりの中で

宇都宮南支部 西浦さち子さん



みんな大好き！カムカムのカレーライス

私が組合員になったのは13年前。お声かけいただき「地域の茶の間・康守さんち」というサロンのスタッフになり、そのつながりで組合員になりました。「康守さんち」はコロナで活動休止、その後閉所となりましたが、そこには皆さんの憩いの場があり、居場所がありました。

私は現在、運営委員と機関紙の手配り、そして「つながるカフェ★カムカム」の調理ボランティアをしています。人と人とのつながりの中で、今の私があります。これからも出会いを大切に、元気に頑張っていけたらと思います。

大学生との多世代交流

宇都宮東支部 藤田 史子さん



大学生の班会『ぐるめっちゅ班』

宇都宮市の子どもの居場所でのボランティア活動を通じて、宇都宮大学の学生の方々と交流があり、「陽だまり」は大学から近いこともありましたので多世代交流ができたと思います。学生さんを班会にお誘いしました。

学生の方々との会話の中で、今後やってみたいことのお話をうかがい、活動の力になればと思います。陽だまりを活用し大学生が班会を作って交流出来たらよいのではと思いました。今年の3月から新班として活動が開始いたしました。

今後、地域とのつながりや居場所づくりに繋がっていくことを願っています。

栃木班から栃木支部へ

栃木支部 町田 紘一さん



支部設立総会時の集合写真

令和3年7月から4回の準備会を経て、11月30日に栃木班を設立。4か月間で組合員を30名増やし100名にしました。『健康とくらし』配送方法を見直し、手配り協力者が20名増えました。班会と役員会を開催し、親睦会では和気あいあいとした雰囲気を作りました。

令和4年度には3つの班会が誕生し、様々な活動を展開しました。生協ふたば診療所、本部「虹の杜」の見学では医療生協の現状と歴史について学び、医療生協が身近に感じられるようになったと思います。令和5年度には「やさいづくり班」が増え、会報『ありがとう』を毎月発行。これらの活動が認められ、今年5月に栃木支部を結成しました。

佐野支部の活動報告

佐野支部 滝田 洋子さん



安蘇・佐野支部合同作品展

佐野支部には、4つの班があります。ことばあそび班（俳句の会）は「夏井いつき句会ライブ」に参加、なないろ班は味噌づくり、バスの乗り方教室、平和行動へ参加をするなど、どの班も多様な活動を行っています。

2023年度は4年ぶりに安蘇・佐野支部合同作品展を、市役所の市民活動スペースで開催しました。作品展の実行委員は「準備など大変なこともありましたが、無事に開催できて本当に良かったです。皆さんの協力と情熱のおかげです」と話していました。

今年度もいきいきとした暮らしに寄与できるよう組合員によりそい、活動をしていきます。

その他の発言

○小さな願いをかなえる組合員訪問 宇都宮中央支部担当 地域活動部 石塚慎也さん

通所介護 デイサービス虹

笑顔あふれる買い物企画

恒例の買い物企画が今年も実施されました。普段買い物はご家族やヘルパーさんをお願いしている利用者様にとって、お店に足を運び、実際に商品を手にとって、欲しい物を購入することは大きな喜びとなっているようです。

好みのお菓子や洋服を買ったり、息子さんへのプレゼントを選んでいる利用者様もいました。ほんの小一時間の外出でしたが、利用者様は皆さん嬉しそうで「今日は楽しかった。今度はいつ行くの?」と、早速次の買い物を心待ちにしているようでした。

デイサービス虹 所長 金田千恵
☎028-600-1601



スーパーでお菓子を選ぶ利用者様

体験利用・見学を実施しています。
(体験利用は昼食代700円がかかります)
まずはお問合せください。



組合員の

いきいき活動

各地で支部総会
開かれる!



6/2 宇都宮南支部

バス中で支部総会を行い、筑波山神社と雨引観音へ出かけました



5/29 宇都宮東支部

「地域で楽しく過ごす!」をテーマに武井医師による学習会を開催しました



5/28 佐野支部

手配り交流会を兼ね、口腔ケアやフレイル予防を楽しく学びました



6/15 宇都宮中央支部

天谷医師による講演には、他支部の組合員も多数参加しました



6/3 宇都宮北西支部

新しい委員も決まり、2024年度の活動に期待の声が聞かれました



6/2 真岡支部

支部総会の後はおたのしみのバーベキュー!



去る6月16日(日) 9時30分、利用委員5人で花壇の手入れと草取りをしました。オレンジと黄色のマリーゴールドがともきれいです。夜勤明けの看護師さんが声をかけてくださり、写真を撮ってもらいました。協立診療所を通りかかったり、診察に来た時などきれいな花に癒されて頂けたら嬉しいなと思います。

宇都宮協立診療所
利用委員会から

委員長 小澤 美江

第17回宇都宮平和映画祭

8/1 (木) 総合文化センターサブホール
8/4 (日) パルティホール ※上映時間は両日とも同じです。

- ①10時20分～11時42分
「ヒロシマへの誓いサーロー節子とともに」
②12時40分～14時10分
「荒野に希望の灯をともし」
③15時10分～16時32分
「ヒロシマへの誓いサーロー節子とともに」

前売券 一般 1,000円

特典 当日+500円で2作品続けて鑑賞できます

診療所、生協本部で前売券を取り扱っています。
TEL:028-600-1606 (地域活動部)

主催：宇都宮平和映画祭

問合せ：090-4875-1462(星) 090-9340-2311(樋山)

第17回 宇都宮平和映画祭

8月1日(木) 総合文化センターサブホール 宇都宮市車町1-8
8月4日(日) パルティホール 宇都宮市野沢町4-1

時間、料金などは裏面に

第6回 原爆の絵展

2024年 8月9日(金) 11:00～17:00
8月10日(土) 10:00～17:00
会場：栃木県総合文化センター 第2ギャラリー

今から70年前に太平洋でアメリカの水爆実験がありました。日本のマゴロ通船が被災。ヒロシマ・ナガサキに続く被爆に国民は「核兵器NO」の声を挙げ、広め続けています。来年はヒロシマ・ナガサキから100年。今回は高校生が描く原爆の絵展と「原爆と人間」とビニール水爆被災パネルを紹介します。

ご案内

文芸コーナー

俳句・川柳

紫陽花の色きわ立ち雨もよう

雨上がりダブルレインボー胸おどる

佐野市 坂本美知子さん
宇都宮市 橋本とめ子さん

短歌

今は亡き友の作ったアルバムは楽しさいっぱい思い出ずっしり

宇都宮市 西村久子さん

退院はしたが痩せたる体力を戻すには食ふアイスをお勧め

宇都宮市 菊池洋勝さん

絵・写真



栃木市 味村 節子さん



ペンネーム 青花



コガモとの出会い
宇都宮市 井上 隆夫さん



日光市 神山キヌ子さん



雨上がりの空に
宇都宮市 斉藤 千恵さん

読者の声

戦争のない世界へ

G7の国際会議で、中国やロシアの制裁や、戦争を停止する方向の話合いがないことが疑問です。世界中で平和を願っているのに知恵を失って停戦を！
宇都宮市 宇梶美津江さん

当選しました！

クイズコーナーへ応募し、グルメカードが届きました!!うれしいです!!これからも頭の体操のほうもがんばりたいと思います。
宇都宮市 猪瀬伴子さん

絵手紙を投稿

「ヘタがいい」「ヘタでいい」というので気軽に始めた絵手紙です。味村さんや神山さんに刺激され「私も一枚」と描いたものの...
ペンネーム 青花

五十にして天命を知る

医療生協も来年で半世紀ですか。人間でいうと「知命」。これまでに先生(医師)、職員の方々と、そして組合員の助け合いと並々ならぬ苦労があったとお察しします。

私共もお世話になり始めて1年弱ですが、小さなことでもお役に立つことがあります。と考えております。
宇都宮市 小池美美子さん

夏、到来

今年も厳しい暑さの夏になるようです。温暖化はすみ、地熱の冷めないう猛暑・酷暑に...。かつては決まって午後になると夕立があつて涼しくなり、熱帯夜などありませんでした。今はエアコンなしにはすごせなくなりましたね。栄養と休息をとって、熱さを乗り切りましょう。
栃木市 味村 節子さん

マスクと熱中症

医療メモ

真夏日が続くと熱中症が増える。エアコンを適当に利用することと水分をこまめにとることで予防できる。
さてコロナ対策でマスクを外さないでいると熱中症になりやすいかと言うとそうでもないらしい。実験ではマスク着用で軽作業を行なった結果、呼吸困難を訴える者が36%増加しただけで深部体温の変化に有意差なしとのこと。個人の状況に応じて任意でよいのでは。

生協ふたば診療所 医師 天谷 静雄

